

文部科学省 特色ある共同研究拠点の整備の推進事業



慶應義塾大学パネル調査共同研究拠点 活動報告 Activity Report No.12

パネル調査共同研究拠点シンポジウム 教育・医療・雇用・社会保障と税制度

【日時】2012年3月9日（金）13:00～17:30

【場所】慶應義塾大学三田キャンパス 西校舎517教室

【プログラム】

開会の挨拶

樋口 美雄〔パネルデータ設計・解析センター長/商学部長〕

報告(前半)

『2010年たばこ税引き上げの効果 -JHPSによるパネルデータ分析-』
河井 啓希〔経済学部 教授〕

『介護の負担と就業行動』

駒村 康平〔経済学部 教授〕

共同研究者: 大津 唯〔パネルデータ設計・解析センター 非常勤研究員〕

『東日本大震災の幸福感への影響』

大垣 昌夫〔経済学部 教授〕

共同研究者: 石野 卓也〔経済学部 助教〕

亀坂 安紀子〔青山学院大学経営学部 教授〕

村井 俊哉〔京都大学大学院医学研究科 教授〕

報告(後半)

『子どもの学力と家計:『慶應子どもパネル調査』を用いて』

赤林 英夫〔経済学部 教授〕

共同研究者: 数島 千鶴〔パネルデータ設計・解析センター 特任助教〕

篠ヶ谷 圭太〔パネルデータ設計・解析センター 非常勤研究員〕

中村 亮介〔経済学研究科 後期博士課程〕

山下 絢〔中央学院大学商学部 専任講師〕

直井 道生〔東京海洋大学海洋工学部 助教〕

『最低賃金引き上げの経済効果:パネルデータによる分析』

佐藤 一磨〔明海大学経済学部 専任講師〕

共同研究者: 樋口 美雄〔商学部 教授〕

小林 徹〔商学研究科 後期博士課程〕

総括

樋口 美雄〔パネルデータ設計・解析センター長/商学部長〕



樋口美雄センター長より開会挨拶

本拠点では、家計の所得変化や階層間移動、税・社会保障制度の家計への影響、制度改正に関する政策評価を目的として、義塾内外の研究者と連携を取りながら、『日本家計パネル調査（JHPS）』『慶應義塾家計パネル調査（KHPS）』の2つの家計パネル調査、東日本大震災に関する特別調査、学力や家庭の教育環境に関する調査（慶應子どもパネル調査）を設計・実施し、分析を進めている。

本拠点の研究成果の発表と、パネル調査の周知のため、3月9日（金）に、慶應義塾大学三田キャンパスにおいて、「シンポジウム 教育・医療・雇用・社会保障と税制度」が開催された。本年度は、税制度に関して、たばこ税の引き上げによる影響を分析した研究、社会保障に関しては介護負担と就業行動の関連を検討した研究、雇用に関しては最低賃金引き上げによる影響を検討した研究、教育に関しては、子ども特別調査のデータを用いて家庭背景と子どもの学力面、心理面の関連について検討した研究の報告が行われた。また、東日本大震災特別調査のデータを用いて、震災が人々の幸福感に与えた影響について検討した研究の報告も行われた。

当日は雨にも関わらず、大学・民間シンクタンク等の研究者、行政関係者など、100名を超える方々にご参加いただいた。また、それぞれの報告に対して、フロアからは多くの質問や有益なコメントが寄せられ、本拠点にとり、大変有意義なシンポジウムとなった。



雨にも関わらず、多くの参加者があった